



# 第30回 日本医学会総会 2019 中部

医学と医療の深化と広がり ～健康長寿社会の実現をめざして～

## 学術集会

2019年4月27日(土)～4月29日(月・祝)

名古屋国際会議場、名古屋学院大学白鳥学舎、ウインクあいち

## 学術展示

2019年4月26日(金)～4月29日(月・祝)

名古屋国際会議場、ポートメッセなごや

会頭

**齋藤 英彦**

名古屋大学名誉教授

副会頭

**松尾 清一** 名古屋大学総長

**郡 健二郎** 名古屋市立大学長

**駒田 美弘** 三重大学長

**星長 清隆** 藤田保健衛生大学長

**柵木 充明** 愛知県医師会長

**森脇 久隆** 岐阜大学長

**今野 弘之** 浜松医科大学長

**佐藤 啓二** 愛知医科大学長

準備  
委員長

**高橋 雅英** 名古屋大学理事

## 事前参加登録のご案内

2018年2月1日(木)正午～2019年4月5日(金)正午まで

**分科会応援早割 (対象:医師・歯科医師・研究者)**

2018年2月1日(木)正午～10月31日(水)正午まで

参加登録区分 (区分は、登録時の身分とする)	分科会応援早割 2018年2月1日(木)正午～ 2018年10月31日(水)正午まで	事前参加登録 2018年2月1日(木)正午～ 2019年4月5日(金)正午まで	当日参加登録 2019年4月27日(土)～4月29日(月・祝)
医師・歯科医師・研究者	<b>25,000円</b>	<b>30,000円</b>	<b>35,000円</b>

## 各種研修制度との連携

- 産業医・健康スポーツ医研修単位が取得可能です。(別途5,000円・産業医最大6単位取得可能)  
※早期からのご登録が可能です。事前申込みのみ(定員制・先着順)
- 日本医学会分科会(一部)の研修単位が取得可能です。分科会の認定する専門医制度等について、分科会規定に基づき単位取得が可能です。
- 日本医師会生涯教育制度学習単位が取得可能です。受講内容に応じて日本医師会生涯教育制度の単位およびカリキュラムコードの取得が可能です。

事前参加登録完了後に産業医セッション受講申込専用サイトをご案内します

事前参加登録はこちらから ▶ <http://isoukai2019.jp/>



同時期開催

第116回日本内科学会総会・講演会

2019年4月26日(金)～4月28日(日)

会長 **長谷川 好規** 名古屋大学大学院医学系研究科  
病態内科学講座 呼吸器内科学 教授

ポートメッセなごや

「第30回日本医学会総会 2019 中部」参加により総合内科専門医認定更新単位：10単位、認定内科医認定更新単位：5単位が取得可能です。

■主催：日本医学会

■主務機関：名古屋大学医学部、名古屋市立大学医学部、藤田保健衛生大学医学部、愛知医科大学、岐阜大学医学部、三重大学医学部、浜松医科大学、金沢大学医学部、金沢医科大学、福井大学医学部、富山大学医学部、信州大学医学部、愛知県医師会、岐阜県医師会、三重県医師会、静岡県医師会、石川県医師会、福井県医師会、富山県医師会、長野県医師会

## 第29回日本体力医学会スポーツ医学研修会のご案内（第4報）

日本体力医学会学術委員会主催の本研修会は基礎コースと応用コースに分かれ、それぞれ2日間、講義と実習を行います。実習は救急救命法、健常者や生活習慣病罹患者に対する運動処方、傷害予防・機能回復の筋カトレーニングおよびテーピングなどです。アスリートを対象とした研修内容ではありませんのでご注意ください。

全てのコースを受講して修了試験に合格し、所定の手続きをとると「日本体力医学会健康科学アドバイザー®」の称号を受けることができます。

称号取得を希望される方は、日本体力医学会に入会し、会員になっていただく必要があります。

この研修会には日本体力医学会非会員の方も参加できます。また、他の研修会を受講し、資格や称号を取得された方で、それらの更新に必要な認定単位取得のために本研修会を受講されても結構です。受講証明書を発行いたします。

尚、実習を行う関係上、各年度の参加人数に制限がありますことをご了承下さい。

平成29年11月10日

日本体力医学会学術委員会・スポーツ医学研修会委員会

中里浩一 岡本孝信 須永美歌子 進藤大典 太田 眞 蕪木智子 清水智美 宇高 潤

### 1. 会 場

日本体育大学東京世田谷キャンパス、2204教室および中央測定室、人工気候室など

### 2. 日時および研修内容

#### (I) 基礎コース

運動生理学やスポーツ医学等の基礎的事項を前提に、さらに進んだ生理学（神経・筋、呼吸、循環、代謝など）や栄養学および運動処方の基礎などを中心に学びます。

2018年(平成30年)6月30日(土)

9：00～10：40 オリエンテーション、有疾患者に対する運動療法の考え方（含COPD, 腎症）  
 10：40～10：50 休憩  
 10：50～11：50 高次脳機能と運動 - 認知症予防のための運動など-  
 11：50～12：50 筋骨格系組織と運動 - 寝たきり予防のための運動など-  
 12：50～13：50 昼食・休憩  
 13：50～14：50 循環と運動  
 14：50～15：50 幼児期および成長期における運動指導について  
 15：50～16：00 休憩  
 16：00～17：00 運動、栄養、生活習慣病予防について  
 懇親会（会費3000円, 参加自由）

2018年(平成30年)7月1日(日)

9：00～10：30 運動処方の基礎  
 10：30～10：40 休憩  
 10：40～12：10 運動器疾患に対する運動療法  
 12：10～13：10 休憩  
 13：10～14：40 心血管系疾患の運動処方および服薬者の運動時注意点  
 14：40～14：50 休憩  
 14：50～16：20 メタボリックシンドロームに対する運動療法

## (II) 応用コース

基本的な運動指導の実際について学びます。実習では自転車エルゴメータによる運動負荷試験をもとに運動処方を作成します。また、呼吸機能検査、体組成測定法、テーピングや筋カトレニング実習も行います。

2018年(平成30年)8月3日(金)

- 9:00~12:00 運動処方実習(a)(トレッドミルおよび自転車エルゴメータを利用した運動負荷試験, 心電図記録, 呼吸機能検査, 乳酸測定など)
- 12:00~13:00 昼食・休憩
- 13:00~17:00 運動処方実習(b), 尿検査, 体組成測定, 筋力/筋パワー測定など

2018年(平成30年)8月4日(土)

- 9:00~12:00 運動処方の実際(前日の運動負荷試験で得られたデータを基に各被験者の運動処方を作成し, 実施する)
- 12:00~13:00 昼食・休憩
- 13:00~17:00 スポーツ傷害予防実習(テーピング, 筋力/筋パワートレーニング, 救命救急実習)

### 3. 修了試験と称号について

基礎コースおよび応用コースの両コースを受講した方は、所定の修了試験を受験することができます。修了試験は2018年(平成30年)8月5日(日)10:00~12:00に日本体育大学東京世田谷キャンパスで行います。修了試験の合格者には合格証を発行いたします。また、修了試験合格後、所定の手続きを経て、日本体力医学会健康科学アドバイザー®の称号を取得することができます。

※「日本体力医学会健康科学アドバイザー認定試験過去問集(正解/解説付)」(税込:2,000円)がありますので、是非ご利用下さい。下記の「9. 申込書送付先および問い合わせ先」へお申込み下さい。

### 4. テキスト

担当講師が用意した講義資料をテキスト化しそれに準じて講義が行われます。また、プレゼンテーション資料も必要に応じて当日配布致します。

### 5. 受講料

受講料は(I)基礎コース、(II)応用コースおよび修了試験の全てを受講する場合は50,000円、単科コース(基礎コース、応用コースの各コースを単独受講)を受講する場合はそれぞれ25,000円(2日間コース)です。2コースの受講を原則としますが、定員に余裕があれば、単科コースの受講も可能です。その年度に受講しなかったコースを次年度以降に受講すれば、全コース受講後修了試験を受験することができます。尚、学生受講者は30,000円(基礎・応用コース)と致します。ただし学生証の呈示が必要です。

### 6. 受講資格と定員

スポーツ医学研修会受講資格は特に定めませんが、2コース受講後に行われる修了試験に合格し「日本体力医学会健康科学アドバイザー®」の称号取得申請を希望する方は日本体力医学会会員でなければなりません。但し、自己研鑽のために本研修会を受講される方や他団体の資格や称号の登録更新のための認定単位取得が目的の場合は日本体力医学会会員になる必要はありません。

定員は各コース40名です。

### 7. その他

健康運動指導士、健康運動実践指導者の登録更新に必要な履修単位(60分1単位)について、基礎コースでは講義11.5単位、応用コースでは講義0.3単位および実習12.7単位がそれぞれ認定される予定です(2018年4月申請予定)。ま

た、THP（トータル・ヘルスプロモーション・プラン）のレベルアップ研修における基礎コース5単位、応用コース5単位が認定される予定です（現在認可申請中）。

## 8. 申し込み方法

本研修会受講希望者は、葉書またはFAXで、日本体力医学会スポーツ医学研修会を受講したい旨を下記までご連絡下さい。仮申込受付後、申込書類をお送りいたしますので、要領に従いお申込下さい。なお、申込に際し、受講料をご案内の口座に2週間以内にお振込み下さい。お振込みをもって正式な申し込みとさせていただきます。定員に達し次第、締め切らせていただきますのでご了承下さい。受講票、受講料などの連絡は、受講通知とともに後日ご案内させていただきます。

なお、申し込みが20名に満たない場合には中止させていただきますのでご了承下さい。その時には受講料を払い戻しますが、本人都合による返金には応じられませんので、あらかじめご了承下さい。

※本学会ホームページの“お知らせ”にある、「スポーツ医学研修会」および「日本体力医学会健康科学アドバイザー®」を確認し、手続きの参考にしてください。

## 9. 申込書送付先および問い合わせ先

〒112-0012 東京都文京区大塚5-3-13ユニゾ小石川アーバンビル4F  
 一般社団法人学会支援機構内  
 日本体力医学会スポーツ医学研修会 係  
 電話: 03-5981-6015 FAX: 03-5981-6012  
 E-mail: jspfsm@asas-mail.jp

---

## 第29回日本体力医学会スポーツ医学研修会仮申込書

下記の通り、研修会の受講を申し込みます。（該当する□にレ印をつけて下さい。）

第29回 基礎コース

第29回 応用コース

試 験

氏 名 \_\_\_\_\_

連絡先 〒 \_\_\_\_\_

TEL : \_\_\_\_\_ E-Mail : \_\_\_\_\_

## 公益財団法人ソルト・サイエンス研究財団「第30回助成研究発表会」および「財団設立30周年記念ソルト・サイエンス・シンポジウム2018」の開催について

### ○第30回助成研究発表会

- ・開催期日 平成30年7月18日(水)
- ・開催場所 都市センターホテル  
(東京都千代田区平河町)
- ・参加料は無料. 参加希望者は財団にファックス・メール等で事前に申込.
- ・詳細については, 財団のウェブサイトをご覧ください.

### ○財団設立30周年記念ソルト・サイエンス シンポジウム2018

1. 開催概要
  - 1) 開催趣旨  
塩に関する学術・その他の情報の普及と啓発
  - 2) 開催日時  
平成30年10月18日(木) 13:00~16:40
  - 3) 開催場所  
品川区立総合区民会館(きゅりあん)  
1階小ホール
  - 4) 参加料 無料  
参加の申込みはファックスまたはメール等で事前に申込

### 2. テーマと講演内容

- 1) テーマ 和食と塩
- 2) 講演内容
  - (1) 特別講演「塩と江戸料理」  
(13:10~14:10)  
講演者: 柳原尚之  
近茶流嗣家柳原料理教室 副主宰
  - (2) 「塩が生み出す味の広がり」  
(14:10~15:10)  
講演者: 石川匡子 秋田県立大学 准教授
  - (3) 「塩麴が創る旨み」(15:30~16:30)  
講演者: 前橋健二 東京農業大学 教授

公益財団法人ソルト・サイエンス研究財団  
(<http://www.saltscience.or.jp>)  
Fax: 03-3497-5712 Tel: 03-3497-5711  
E-mail: saltscience@saltscience.or.jp

## SICE ライフエンジニアリング部門シンポジウムLE2018

期 日: 2018年9月10日(月)~12日(水)  
会 場: 会津大学  
〔福島県会津若松市一箕町鶴賀字上居合90〕  
会津若松駅よりバスまたはタクシーで約10分  
<http://www.u-aizu.ac.jp/>

学術奨励賞, 研究奨励賞, 学生奨励賞:  
ウェブサイトをご覧ください.

参加費:  
参加費には論文集代が含まれます(すべて消費税込).  
主催・協賛学会員・他 11,000円  
一 般 13,000円  
学 生 4,000円  
事前割引(7/31(火)まで早割), 主催・共催・協賛学会割引などの設定がございます. 詳しくはウェブサイトをご覧ください.

支払方法: ウェブサイトをご覧ください.

ウェブサイト:  
<http://www.sice.or.jp/org/le-symposium/2018/>

問合せ先: [le-symposium@sice.or.jp](mailto:le-symposium@sice.or.jp)

学会事務局(部門担当): 電話 (03)3292-0314,

E-mail: [bumon@sice.or.jp](mailto:bumon@sice.or.jp)

主催・企画:  
計測自動制御学会 ライフエンジニアリング部門

共 催: 公立大学法人会津大学

協 賛:  
映像情報メディア学会, 応用物理学会, 看護理工会, システム制御情報学会, 情報処理学会, 人工知能学会, 精密工学会, 電気学会, 電子情報通信学会, 日本医療機器学会, 日本医療情報学会, 日本音響学会, 日本機械学会, 日本神経回路学会, 日本神経科学学会, 日本睡眠学会, 日本生体医工学会, 日本生物物理学会, 日本体育学会, 日本体力医学会, 日本人間工学会, 日本リハビリテーション工学協会, 日本ロボット学会, バイオメカニズム学会, ライフサポート学会, IEEE EMB West Japan Chapter, 日本生体磁気学会, 日本生理学会, 日本臨床神経生理学会, Japan Chapter of IEEE Engineering in Medicine and Biology Society, 計測自動制御学会中部支部(予定・依頼中を含む)



## 編 集 後 記

桜の季節も終え、夏日を記録したと思えば、雨冷えになるなどの天候不順の日々が続きます。この季節は解剖学会や生理学会、私事で言えば内分泌学会と各先生方の親学の学術集会在開催される時期にも当たります。会員の皆様におかれましては、自身の研究を発展させるため、また新たな研究領域のチャレンジに向けて情報収集に余念がないことと思います。4月に宮崎で開催された第91回日本内分泌学会学術集会では、体力科学と内分泌学の接点を探るシンポジウム「Exercise Endocrinology」を企画させていただき、本会から順天堂大学の福典之先生にご講演いただきました。この学術集会では、体力科学に応用可能な研究成果も多数見られ、領域の垣根を超えて、貪欲に学んでいくことの重要性をあらためて感じました。

「体力科学」第67巻3号掲載の総説1編、原著論文2編、資料1編、教育講座1編をお届けします。

総説では、筋小胞体からのカルシウム放出を担うリアノジン受容体の機能と骨格筋疲労との関連について、最新の知見を基に議論されており、筋疲労のメカニズムを考える上で良い道標になると思います。原著論文の1つは、反復した股関節外転運動がオーバーユーズによるスポーツ障害発症のリスクを高める原因について可能性を提示しています。加えてその軽減につながるアプローチも示されています。もう1編は、体力測定とアンケートの結果からマラソンタイムを予測するものです。マラソンをこれから始める人や大会に向けてトレーニング効果を確認することにも利用可能な実践的研究となっています。内科的、外科的、基礎、実践などの多方面からのア

プローチ可能な本学会の学術論文らしい2編となっています。資料では、一定の健康への効果が期待されるポケモンGOと歩数との関係について、日本人の特性を考える上で貴重な資料が提示されています。教育講座では、筋萎縮とフリーラジカルの関係について最新の知見が紹介されています。特に細胞外SODやKeap1-Nrf2経路による抗酸化機能の役割については、この領域を深く理解するために有用なものとなっています。近年、酸化ストレスと骨格筋萎縮との関係は、多方面から検証されており、サルコペニアやフレイル、ロコモティブシンドロームの予防に向けた研究に繋がるものとして注目を集めております。この教育講座は、その入門としても、さらに知識を深めたい研究者にとっても、一読の価値のあるものになっています。会員の皆様には全編を通して精読いただき、さらに発展させたエビデンスの構築につなげていただけたら嬉しく思います。

以前の話になりますが、2016年3月にアメリカ統計学会からP値の取扱いについて勧告があり、あらためて仮説やモデルの構築、その仮説に関する多方面からの検証の重要性が示されました。その少し前には、Nature誌とScience誌に生命科学実験は、再現性に乏しいとのコメントが寄せられています。研究に関する正しい倫理観を持つことは当然として、今後、研究者自らが自らの成果を検証する議論の場にたち、より正しいエビデンスが後世に伝えられるよう努力していく必要を感じております。

十枝内厚次

### The Japanese Journal of Physical Fitness and Sports Medicine Vol.67, No.3

#### 体 力 科 学 第 67 巻 第 3 号

平成30年5月25日 刷 刷

平成30年6月1日 発 行

編集兼発行者  
発 行 所

田中喜代次  
一般社団法人日本体力医学会  
〒112-0012 東京都文京区大塚5-3-13  
ユニゾ小石川アーバンビル4階 学会支援機構内  
TEL: 03-5981-6015 FAX: 03-5981-6012  
E-mail: jspfsm@asas-mail.jp

編集事務局

〒997-0854 山形県鶴岡市大淀川字洞合1-1  
鶴岡印刷株式会社内  
TEL: 0235-22-3120 FAX: 0235-22-3120  
E-mail: hj-tairyoku@turuin.co.jp

印 刷 所

〒997-0854 山形県鶴岡市大淀川字洞合1-1  
鶴岡印刷株式会社